



## イスラム教徒は、どんな肉も食べないの

### ブタ肉を食べることが禁止されている

あなたは、テレビなどで、イスラム教について報道したのを見たことがありますか。わたしたちは、イスラム教について、1日5回、聖地メッカに向かっておいのりするとか、女性がベールという布で顔をかくしているとか、ごく限られた知識しかもっていませんね。

イスラム教は、キリスト教、仏教とならぶ世界三大宗教の一つに数えられています。インドネシア、マレーシアから、サウジアラビア、イランなどの西南アジアの国々、および北アフリカの国々で信じられている宗教です。

イスラム教では、ブタ肉を食べることが禁止されています。料理にも、ラード（ブタの脂肪）は使いません。しかし、ブタ肉以外の肉は食べてもかまいません。ヒツジ、ヤギ、ニワトリの肉が食べられています。マトンカレー（ヒツジ肉入りのカレー）が特に多く、そのほかニワトリカレー、魚カレー、野菜カレー、豆カレーなどが、ナン（パンの一種）といっしょに食べられています。

### 水も飲んではいけない断食の月

イスラム教では、ラマダーンという断食をする月があります。このときは、日の出から、日の入りまでは、何も飲んだり食べたりしては、いけないのです。砂ばくなどの乾燥地帯に住んでいるイスラム教徒にとっては、とてもつらい習慣です。しかし、太陽がしずんでは、飲み食いをしてかまいません。ですから、夜に、1日分の食事をとることになります。（監修・青木 国夫）

